

ごあいさつ
目次 凡例

第1章 善光寺信仰と女人救済

第2章 中世の女性たち

- 1 自立した女性たち
- 2 中世の女性と仏教

第3章 善光寺を訪れた人びと

- 1 善光寺を訪れた人びと
- 2 善光寺を訪れた宗祖と教団発展

第4章 女人救済信仰の広がりと変容

- 1 大本願尼の活躍
- 2 血盆経と女性

第5章 善光寺信仰を支える女性たち

- 1 桂昌院と善光寺
- 2 女性の講と善光寺

第6章 中世信濃びとの暮らし

- 1 善光寺門前を掘る
- 2 出土品から見た中世信濃びとの暮らし

中世善光寺参詣記録 牛山佳幸

展示資料一覧

主な参考文献

謝辞

1. この図録は平成二十一年四月四日から五月三十一日までを会期とする、長野市立博物館第52回特別展『女たちと善光寺』の展示解説図録である。
2. 図版は展示資料の一部であり、図録掲載と展示の順序は一致しない。
3. 展示資料は会期中に一部展示替えを行う。
4. 指定文化財は国宝●、重要文化財は◎、県指定文化財は◇、市町村指定文化財は□で示した。
5. 展示企画、資料収集、写真撮影、写真提供も含めて多くの機関並びに個人に援助を賜った。巻末に記し、感謝の意を表す。
6. 本文中の敬称は略させていただいた。
7. 本図録には牛山佳幸先生より、中世善光寺参詣記録を寄稿いただいた。
8. 時宗については資料によって「時衆」と「時宗」の記述がみられるが、本図録では「時宗」に統一して記述している。
9. 資料名は文化財の指定名称とは一致しない場合がある。
10. 本展覧会は、長野市教育委員会に所属する学芸員、専門員が協力し企画した。
長野市立博物館
佐々木麻由子
千野浩
降幡浩樹
細井雄次郎
松代文化施設等管理事務所
原田和彦
松下愛
長野市埋蔵文化財センター
宿野隆史
(平成二十一年三月三十一日現在)
11. 本書は左記により分担執筆した。
第1章 降幡浩樹
第2章1 降幡浩樹
第2章2 降幡浩樹
第3章1 降幡浩樹
第3章2 佐々木麻由子
第3章3 降幡浩樹
第4章1 細井雄次郎
第4章2 原田和彦
第4章3 佐々木麻由子
第5章1 松下愛
第5章2 細井雄次郎
第6章1 宿野隆史
第6章2 千野浩

「あいさつ」

三国伝来の阿弥陀如来が鎮座する善光寺が全国に広く知られるようになるのは鎌倉時代頃からのことです。その要因としていくつかの理由が考えられますが、その一つとして善光寺如来が女性を救うという話の登場があげられます。善光寺の女人救済譚がどのような経緯で生まれたのかは不明ですが、善光寺は、これまでの仏教では救済の対象外とされてきた女性を対象とすることで、当時財力もち社会でも活躍するなどしていた女性を新たな信者として獲得していきました。これに対し、実際に善光寺を訪れた女性たちは、必ずしも女人救済にこだわることなく、さまざまな願いを持って訪れていたようです。

当時の女性たちは善光寺に何を求めて訪れたのか、これに対し善光寺はどのように彼女たちを迎えたのか、中世から近代にかけての女性たちの姿を通して善光寺と女性との関わりについて考えてみたいと思います。

最後になりましたが、今回の開催にあたり、貴重な文化財を快くご出品いただきました所蔵者の皆様をはじめ、多大なご協力、ご指導を賜りました関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。

長野市立博物館

